

2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日)

特定非営利活動法人 はなはな ひろば
理事長 吉田 亜希子

1. 事業活動報告

特定非営利活動法人 はなはなひろばの第13期目の活動は、2019年4月1日から2020年3月31日の12か月である。

期末現在の会員数は、24名、賛助会員数は13名である。

期中の新規入会会員は2名、脱退会員0名である。

2. 事業内容

＜特定非営利活動に係る事業＞

I) 親と子のつどいのひろば事業

- ・ ほっと安心できる子育てひろばとして、0歳から未就学児とその養育者がいつでも自由に集える場の提供を目的に、月曜日から金曜日までの平日は毎日10時から16時まで活動、さらに偶数月の第2土曜日、奇数月の第3土曜日も開設した。
- ・ ひろばの利用料は1家族1日100円とし、途中お昼寝に帰ったりおやつ等を買って出ても再度の利用料はなく戻って来られるようにした。
- ・ 毎週月曜日の午前中を“赤ちゃんタイム”とし、よちよち歩きまでの子どもたちの時間帯とした。
- ・ 日常のひろば活動のほかに、養育者の希望も取り入れながら月2～3度のイベントを開催した。
- ・ 養育者の育児負担の軽減を図るため、6カ月から未就学の子どもの対象に一時預かりを行った。
- ・ 近くにくつろげる場のない親子のために、鶴見区社会福祉協議会との共催で同社協の一室を使用して「おでかけ広場」を開設した。
- ・ 遠方であったり、また他の事情でひろばへ足を運びづらい養育者のために「子育てメール相談」を行った。希望がある時や必要と思われる時には面談も行った。
- ・ この事業は、横浜市「親と子のつどいのひろば事業」としての委託を受けている。当期、委託金額は7,542,000円（うち一時預かりに関わる補助金は1,536,000円家賃補助720,000円）。

④ 日常ひろば活動

活動状況は次の通りである。

通常ひろば活動日数：220日 利用組数：1,671組 利用人数：3,650人

- a) 毎週月曜日午前中の“赤ちゃんタイム”は親子が安心してゆっくり過ごせるようにしている。来所した親子がそのまま午後もひろばで時間を過ごし、月齢の異なる子どもたちとも交流するようになった。
- b) 日本語が理解しづらい利用者のために、英語版の利用のしおりに用意した。
- c) ホームページの内容を充実させ、SNSを使ってひろばの広報にも工夫をした。
- d) 区役所、保健センター、地区センターなど地域の子育て支援に関わる機関や赤ちゃん訪問員の方々を通してチラシを配って、はなはなひろばを宣伝、紹介してもらえた。
- e) 地域の子育て関連施設のチラシを玄関前に掲示、ひろば内に配架、または利用者に手渡しをして情報提供した。
- f) ホームページをみたという以外に、友達から誘われたりひろばの前を通りがかって気になって来所した親子も増えた。
- g) ひろばを利用する親同士が情報を交換し合ったり誘い合わせて出かけるなど、ひろばでの出会いが他での交流にも繋がっていた。
- h) スタッフは子育て中の親が安心して寛げるよう心掛け、初めて来所した親子を他の来所者に紹介し、ひろばにうちとけ易いように意識的に働きかけた。また、リピーターの親子が新規の利用者に声掛けをして気持ちを和ませる役割をしてくれた。
- i) 母親以外の保護者が利用するケースも増えた。（父親、祖母、友人など）
- j) コロナウイルス感染予防対策のため横浜市からの要請を受け3月は閉館したが、緊急時に備えて必ず最低1名のスタッフを配置した。

- k) 2017年度以降は年々利用者が減ってきている(約2%減)。子どもが成長すると働き始める母親が増え来所する子どもが低年齢化しているのに併せて、春には保育園入園やプレ幼稚園へ通う子どもがいることが一因と思える。次年度に向けて、ひろば利用者を増やすための取り組みが課題となった。

広場利用実績

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
総開催日数	220日	239日	236日	237日	236日	238日
利用者数	3650人	4,617人	5,663人	5,456人	5,354人	4,935人
1日平均	16.6人	19.3人	24.0人	23.0人	22.7人	20.7人

月別利用状況は以下のとおりである

月別利用状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	利用組数	164組	135組	146組	138組	155組	149組	152組
利用人数	373人	294人	317人	303人	367人	318人	328人	
月別利用状況	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
	利用組数	159組	165組	173組	131組	4組	1,671組	7,6組
	利用人数	343人	354人	365人	279人	9人	3,650人	16,6人

㊤ イベント

年間に催したイベントは次の通りである。

新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していたイベントを中止した。(2月下旬～3月中)

- 日常の活動を大切にすため、なるべくイベントの回数を抑えるようにしたが、利用者の希望もあり今年度も月に2～4回の開催となった。
- 年に数回、定期的に行うイベントに1度参加した親子が次も予定して参加するようになっていた。
- 生麦ケアプラザを使ってのイベントはケアプラザと協力し合いながら充実した内容にすることができた。(おやこ体操)
- ハローワークまで足を運びづらい親のためにマザーズハローワークとのコラボ企画で「出前就職応援セミナー」を開催した。参加者は熱心に話を聞き質問も多く出た。その中で、実際にハローワークへ出向き就職に繋がった人もいた。
- 広場利用者を講師に迎えての開催もあった。(英語で楽しく遊ぼう、ウズベキスタン料理教室)
- 元ひろば利用者の発案で、はじめての催しをした。(書き初め)
- はなはなひろばの活動に賛同したひとが月に1～2回自主的に来所し、その日の子どもの様子を見ながら絵本の読みきかせなどをして親子を楽しませてくれた。(おはなし会)
- 今年度の13周年記念行事はスタッフ有志が企画した。工夫を凝らしたユニークな内容で思い出深いお祝い会となった。
- ホットヨガを行っている団体からの提案で、産後1年未満の母親を対象に産後の健康を考えた「ハピママヨガ」を行った。参加した人から好評だったので次年度も引き続き行いたい。
- 近隣の保育園に依頼して月に1度保育士さんに来てもらった。「保育士さんと遊ぼう」と題した時間帯で、手遊びやお話しなど人気が高く次回を楽しみにする親子が多かった。育児の相談をする親もいた。

誕生会 7回(66組136人)	13周年記念お祝い会 1回(15組34人)	夏まつり 1回(47組127人)	書き初め 1回(5組10人)
お花見 1回(23組52人)	絵本とともだち 3回(34組70人)	おやこ体操 5回(47組102人)	ベビーマッサージ 6回(58組116人)
料理教室 4回(32組69人)	保育士さんと遊ぼう 6回(65組132人)	おはなし会 7回(27組56人)	マザーズハローワーク 2回(9組18人)
英語で遊ぼう 1回(6組12人)	ウズベキスタン料理 1回(8組16人)	ハピママヨガ 1回(7組14人)	育児講座 1回(14組28人)

合計 48回 (463組 992人)

◎ 一時預かり

今年度の一時預かり実績は次の通りである。登録者数は3月末までに463名となっている。

一時預かり活動日数：238日

- 預かり時のスタッフ体制は1人の子どもに対して必ず1人のスタッフを配置し、安全に細心の注意を払った。
- 預かり登録数は増えつつあるが実際に利用するところまで至っていない親子もいる。
- 他の子どもの預かりの様子を見て、利用を迷っている親が自分も預けてみようという気持ちになれるよう働きかけた。
- 繰り返し一時預かりを利用する親が増えた。
- スタッフの多くが預かりを担当するようになり、気付いた課題について話し合いの場を持った。
- 預かり中は、通常のスタッフも積極的に預かりの子どもや担当スタッフへの気配りをした。
- 預かりのある時に居合わせた親子は、預かりの子どもに優しく気持ちを寄せてくれていた。
- コロナウイルス感染対策で3月中は閉館したが預かりは受け付けた。ほぼ毎日、複数の預かりがあった。
- 日常のひろば利用者が大きく減っているにも係わらず、一時預かりの人数、預かり時間とも昨年より1%以上増えた。預かりの理由は、通院・介護・仕事が多かった。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	15人	10人	10人	17人	12人	8人	14人
総利用時間	46.5時間	31.5時間	39.5時間	57.5時間	51.5時間	26時間	40時間
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数	7人	18人	24人	22人	36人	193人	170人
総利用時間	23.5時間	56.5時間	75時間	69.5時間	121.5時間	638.5時間	505.5時間

④ おでかけ広場

- 鶴見区社協の共催事業として社協内の一室で「おでかけ広場」を開設した。
月2～3回、主に金曜日の午前10時～12時の2時間。(コロナの影響で3月は閉館となった)
開設：32回 利用人数：113組 255名
- 花月園前までは足を延ばしづらいが「おでかけ広場」なら通いやすい親子が毎回数組来所し、再来する利用者が増えた。
- 「おでかけ広場」の利用をきっかけに「はなはなひろば」へ足を延ばし、時にはイベントに参加する親子もいた。

⑤ 子育てメール相談

- メール相談は折々に入ってくる。守秘義務厳守のもと、相談が入った時にはできるだけすぐに対応した。
- 相談者の思いを第一にして、相談者ができるだけ自分の力で課題の解決に向かえることを主とした。また、その相談者が納得したり気持ちが落ち着けるまで何度かやりとりをした。
- ひろばスタッフでは対応が難しいと思われるケースは、区役所の子育て支援課などの専門機関に相談した。
- 初めての子育てでは、経験者から見ればほんの些細に思える事柄でも、子育てに関する情報が多くそれに惑わされて不安を抱いた時に話せる人がいなかったり自分から相談に出かけにくい場合でも、メールならば相談し易いような場となっている。

II) その他：地域との交流

- 地域の商店街との繋がりを深め、商店街の活性化に何らかの協力ができた。
- 同じ地域で活動している「NPO法人 なまむぎこども食堂」との交流がさらに深まっている。
- もとひろば利用者や近隣の方々からの好意で、使わなくなった子供服やおもちゃ等の提供を受けた。おもちゃ等はひろばに来るこどもに喜ばれた。また、衣類は常設しているフリーマーケットに出すと利用者が有効に活用した。

貸借対照表

2020年3月31日 現在

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	29,112	
預金合計	1,275,190	
流動資産合計	1,304,302	
2. 固定資産		
固定資産合計	0	
資産合計		1,304,302
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	402,448	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		402,448
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,317,008	
当期正味財産増減額	-443,641	
正味財産合計		873,367
負債及び正味財産合計		901,854